

2012 年 12 月 19 日

## 成田空港 10 大ニュース 2012

2012 年の「成田空港 10 大ニュース」を取りまとめましたので発表いたします。

### ● 国内線・国際線に LCC の就航相次ぐ

[国内線]

- ◆ ジェットスター・ジャパン(7 月 3 日)、エアアジア・ジャパン(8 月 1 日)が国内線に新規就航
- ◆ 2 社の就航により 7 月以降の国内線旅客数は前年比 2 倍以上に

[国際線]

- ◆ エアアジア・ジャパンが国際線に新規就航(仁川線:10 月 28 日、釜山線:11 月 28 日)
- ◆ スクートが国際線に新規就航(台北経由シンガポール線:10 月 29 日)

### ● 国際線ネットワークが更に拡充

- ◆ 新たな就航先が増え、国際線ネットワークが更に拡充
  - 日本航空がボストン線(4 月 22 日)、サンディエゴ線(12 月 2 日)を新規開設
  - 全日本空輸がヤンゴン線を新規開設(10 月 15 日) 等

### ● LCC 専用ターミナルの整備を発表

- ◆ LCC の本格的な参入促進を図るため、低廉で LCC のニーズに合致した専用ターミナルの整備を決定(4 月 5 日)、2014 年度中の完成を目指して整備中
- ◆ 当面の間は、国際線は第 2 ターミナル、国内線は同ターミナルの南側、北側に新たに設置した国内線施設で対応(南側:9 月 12 日供用、北側:10 月 23 日供用)

### ● ビジネスジェット専用ターミナル「Business Aviation Terminal - Premier Gate -」の供用開始

- ◆ ビジネスジェットの受け入れ体制を整えるため、首都圏初の専用ターミナルをオープン(3 月 31 日)
- ◆ ご利用のお客様専用の CIQ 施設の整備により、プライバシーの確保、出入国手続きにかかる時間の短縮化が図られ、よりスピーディーなアクセスが可能に

### ● 週間発着回数が過去最高を記録 (2012 年冬ダイヤ)

- ◆ 総発着回数(4,140 回/週)、国内線発着回数(810 回/週)、就航都市数(海外 99 都市、国内 12 都市 合計 111 都市)、乗り入れ航空会社数(79 社)において過去最高を記録

## ● 2013年4月1日より適用となる国際線着陸料等の改定料金を発表

- ◆ オープンスカイを控え、成田空港の国際線ネットワーク拡大及びアジア地域における競争力強化のための料金改定を発表(11月13日)、2013年4月1日より適用
  - 国際線着陸料は、航空機の種類に応じて平均5.5%引下げ
  - 国際線手荷物取扱施設使用料は、座席数に応じた多段階の区分見直しを実施、101席以上の単価引下げ

## ● 空港アクセスの改善

- ◆ 早朝・深夜時間帯のLCC発着便を中心とした空港アクセス改善に対応するため、高速バスが運行を開始し、利便性が向上
  - 「東京シャトル」(京成バス・成田空港交通・京成バスシステム※)が東雲・東京線の運行開始(7月3日) ※9月9日～参入
  - 「THE アクセス成田」(平和交通)が東京・銀座線および大網・鎌取線の運行開始(8月10日)
  - 「リムジンバス」(東京空港交通)が新宿線の深夜便運行開始(8月17日)

## ● デジタルサイネージの運用開始

- ◆ 国内最大級となる27面マルチディスプレイ、パノラマビジョンを含む合計100台・336面のデジタルサイネージ“SKY GATE VISION”の本格運用が開始し、ターミナルビルを明るく華やかに演出(6月26日)

## ● お客様サービスのさらなる向上

- ◆ 最新技術を駆使したお客様サービスの提供を推進
  - 成田空港公式スマートフォンサイトを開設(3月21日)
  - テレビ電話による多言語案内サービス(4月1日)や、巡回案内への「iPad」導入(6月11日)
  - ターミナル内ナビゲーションアプリ「NRT\_Airport Navi」をリリース(7月10日)
- ◆ 商業エリアの充実
  - 出国審査後のエリアで大幅リニューアル、新店舗続々オープン

## ● 航空旅客数が8億人、国際航空貨物量が5000万トンを突破

### [航空旅客数]

- ◆ 1978年の開港から33年9ヶ月目に累計8億人を突破
  - 8億人突破 2月6日 (7億人突破から3年2ヶ月)

### [国際航空貨物量]

- ◆ 1978年の開港から34年7ヶ月目に累計5000万トン突破
  - 5000万トン突破 12月7日 (4000万トン突破から5年1ヶ月)